**第13課 あなたがどこに行っても**2018.4.1

◎ 賛美(一同) : 韓日355番、韓日456番(聖歌588)

◎ 信仰告白(一同) : 使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : Ⅰ歴代誌17章7∼12節

◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 最後に

◎ 今日のマナ

ダビデはイスラエルのどの王よりも神様を愛した王でした。そのためダビデはイスラエルの王位について後、敵を追い払い国が安定すると一番先に神様の聖殿を建築しようとしました。しかし、神様は彼に聖殿建築をおゆるしになられませんでした。かわりに神様は、ダビデをイスラエルの主権者として、彼がどこに行こうとも共におられ、彼の家と王位を永遠に堅く立てられると約束して下さいました。

**1. 神様がたてられた指導者**

神様は、聖殿を建築し神様をお迎えしたいと願うダビデの心を喜んで受けて下さり、彼を祝福されました。Ⅰ歴代誌17章7節後半は“わたしはあなたを、羊の群れを追う牧場からとり、わたしの民イスラエルの君主とした。”と語っています。

ダビデは王になるような資格や条件を持った人ではありませんでした。彼は羊を飼う羊飼いに過ぎませんでした。それにも関わらず、神様が羊飼いのダビデをイスラエルの王とされたのは、彼が神様の御心にかなった人であったゆえです (Ⅰサムエル13:14)。

ダビデが神様の御心にかなったのは、彼の人間的な条件や功労によるのではありませんでした。それは主権的な神様の選択でありました。神様は私たちがどれほど不義で卑しい存在であるのかを知っておられながらも創造の前から私たちを、神様の子供とすることを定めて選んでくださいました。エペソ1章 4節から5節は“すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。”と語っています。

このように、私たちを召され救われ神の子として下さることは、神様の全的な主権なのです。神様はとがと罪によって死ぬしかない私たちを、一方的に選択され、その血潮で贖われ、救われたのです。したがって、私たちは罪があり、弱さがあろうとも、神様の前に進み行くことが出来ます。あるがままの姿で主に進み行くなら、神様はいつでも私たちを愛によって受け入れて下さいます。私たちはその愛に感謝し、私たちを選んでくださった神様の主権の前に頭を垂れ、主の御心に従順し、神様に栄光をお返しする人生を生きなくてはいけないのです (Ⅰ歴代誌17:19)。

**2. 神様が共におられ尊い者となった指導者**

神様はダビデに“あなたがどこに行っても、あなたとともにおり、あなたの前で、あなたのすべての敵を立ち滅ぼした。わたしは地上の大いなる者の名に等しい名をあなたに与える”と約束して下さいました(Ⅰ歴代誌17:8)。ダビデは、神様が共におられることによって敵に打ち勝ち、この世で尊い者となったのです(Ⅰ歴代誌18:6∼13)。

ヤコブが逃亡者の立場となって荒野で一人になった時、神様はその失敗の現場に彼と共におられました。創世記28章15節は“見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。”と語っています。ヤコブはこの荒野で神様に出会って後、神様は遠くにおられる方ではなく、いつも共にいて下さる神様であることを悟りました。そして、何もない空手の状態で出てきたヤコブでしたが、神様の守りと導きを受けて後、20年後、大きな祝福を受けてカナンの地へと帰ることが出来ました。神様が共にいて下さる人は、どこに行こうとも、全ての問題と苦しみに打ち勝ち、勝利の人生を生きるようになるのです。

神様はダビデの名前を勝利の尊い名にして下さったように、私たちも尊い者に高く上げることを願っておられます。イザヤ43章4節は“わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だからわたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。”と語っています。私たちはもうこれ以上、人々の評判にこだわるのでなく、神様が私たちを高価で尊いと認めて下さることに満足し、感謝しなくてはいけません。

私たちはいつも、神様第一主義の人生を生きなくてはいけません。ダビデのように、何よりも先に神様の栄光のための人になりましょう。そうするならば、神様は、私たちがどこに行こうとも共にいて下さり高くして下さる祝福を享受するようになります。

**3. 神様が恵みを施される指導者**

神様は、聖殿建築を熱望したダビデの心を喜んで受け取られ、彼の息子を通して聖殿を建築し、彼の王位を永遠に堅く立てられると約束されました。Ⅰ歴代誌17章11節から12節は“あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちのもとに行くようになるなら、わたしは、あなたの息子の中から、あなたの世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。”と語っています。

この約束の通り、ダビデの王位はソロモンに引き継がれ、ダビデの系図から王の王であるイエスキリストがお生まれになりました。そして今日、全てのキリスト者が‘ダビデの子イエスキリスト’を、王の王、主の主と告白し賛美します。ルカの福音書1章31節から33節は“ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。”と語っています。

ダビデが特別な人であったからこのような栄光を享受したのではありません。ダビデがしたことは、神様を心から愛し、いつも神様と共にいることに力を尽くしたことだけです。すべての事が、神様が彼に施された恵みです。神様は、この恵みを私たちにも同じように施してくださいます。私が私になったことは神の恵みによるのです。私の救いも、私の働きも、私たちの成功もすべて神様の恵みです。その恵みに感謝して、日々神様の賛美して生きましょう。

◎マナの要約

<神様がたてられた指導者>

1. ダビデは羊飼いに過ぎない者でしたが神様が立てられると偉大な王になりました。

2. 私たち弱い罪人ですが、神様の恵みによって神様の子供になることが出来ました。

<神様が共におられ尊い者となった指導者>

1. 生涯、神様と共にいたダビデは、この世でも尊い者になりました。

2. 神様と共にいる時、高価で尊い人生を生きることが出来ます。

<神様が恵みを施される指導者>

1. 神様の恵みで、ダビデは王の王なるイエス様の先祖となりました。

2. 私たちが受けた救いも、私たちが仕える献身も、私たちが成した成功も全て神様の恵みです。

◎人生のマナ

<隣の人と挨拶>

1. 神様はあなたを立てられようと願っておられます。

2. 神様は今、あなたと共におられます。

3. 私たちの全ては神様の恵みです。

<祈り>

1. 神様に頼り、人生の障害物となる問題の解決のため祈りましょう。

2. 毎瞬間、神様が共にいて下さるように祈りましょう。

3. 私たちが成し遂げた事全て、享受している全ての事が神様の恵みであることを告白する祈りをしましょう。

<とりなしの祈り>隣の人と祈りの課題を分かち合い、共に祈りましょう。